

科目名	「恋愛映画」を哲学する		
担当教員	天野 雅郎		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	水3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名(英語表記)	Philosophy of the Movies——Romance		
授業の概要・ねらい	<p>恋愛——すなわち、私たちが「何か」(＝誰か)を恋し、あるいは「何か」を愛するとは、どのような行為であり、どのような感情なのでしょう。</p> <p>多分、それは私たちの多くが漠然と、普段の生活の中で感じ取り、それ相応に理解をしている...つもりになっているものの、どこか明瞭に、はっきりと口に出すことの難しい、そのこと自体が差し控えられるべき「何か」であり、したがって、それは私たちの誰しもの、生きていくことや死んでいくことの深部へと、暗部へと私たちを誘(いざな)っている「何か」です。</p> <p>この授業では、そのような「何か」を具体的に、いわゆる「恋愛映画」を題材に取り上げて、これを毎回、哲学的な議論と絡ませ合いながら、考えることを目指します。授業自体は昨今、流行(はやり)の「わかりやすさ」を旨とするものでは、ありませんので、生半可(なまはんか)な態度で受講をすると、火傷をしたり、端的に、不合格になったりするのが必至です。</p>		
授業計画	<p>①幕開(まくあき)</p> <p>②四月には、四月の恋愛映画を...(その言)</p> <p>③四月には、四月の恋愛映画を...(その説)</p> <p>④四月には、四月の恋愛映画を...(その参)</p> <p>⑤五月には、五月の恋愛映画を...(その言)</p> <p>⑥五月には、五月の恋愛映画を...(その説)</p> <p>⑦五月には、五月の恋愛映画を...(その参)</p> <p>⑧幕間(まくあい)</p> <p>⑨六月には、六月の恋愛映画を...(その言)</p> <p>⑩六月には、六月の恋愛映画を...(その説)</p> <p>⑪六月には、六月の恋愛映画を...(その参)</p> <p>⑫七月には、七月の恋愛映画を...(その言)</p> <p>⑬七月には、七月の恋愛映画を...(その説)</p> <p>⑭七月には、七月の恋愛映画を...(その参)</p> <p>⑮幕切(まくぎれ)</p>		
到達目標	恋愛とは何か...が、ちょっとだけ分かります。が、分かっても、その実体を掴むのは困難です。		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
教科書	使用しません。		
参考書・参考文献	適宜、紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	映画と哲学の双方に、興味のある人だけ受講して下さい。興味のない人が受講すると、とても酷い目に遭いますよ。		
履修する上で必要な事項	映画の上映中、暗い室内でパソコンやスマホの明かりを付けることを禁じます。守らない人は、即刻、退室をして貰いますので、お忘れなく。		
受講を推奨する関連科目	「恐怖映画」を哲学する		
授業時間外学修についての指示	指示を出されなくても、日頃から自分で映画を観て、自分の頭を哲学的に使う習慣を、身に付けて下さい。		
その他連絡事項	特に、ありません。		